

あけまして おめでとうございます

2020年はどんな年でしたか。と聞くとほとんどの人が新型コロナによる生活の激変を思い浮かべることでしょう。新しい年を迎えましたが、まだ新型コロナウイルスと付き合わなければならないようです。そんな中でも保育園では、子どもたちの笑顔や笑い声、時には泣き声に包まれています。何気ない日常が如何に幸せなことであるかを実感し、今年もいっぱい元気に過ごしましょう。



耳の話

耳は五感のうちの一つ『聞く』仕事をする聴覚の器官です。音を脳へ伝えるほかに音の聞き分けをする役割と、からだのバランスを知る重要な働きをしています。

耳の構造

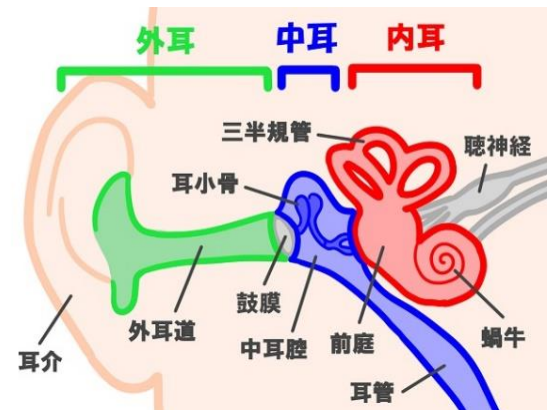
耳の穴から奥へ順に「外耳」「中耳」「内耳」の3つに分けます。外耳と中耳の間に鼓膜があります。

聞く機能（外耳、中耳、内耳が関係している）

外耳と中耳は音を振動としてキャッチし、それを内耳に伝える働きをします。（伝音系）内耳は振動を電気信号に変えて脳へ伝え、電気信号を音として感知・認識します。（感音系）

バランスを感じる機能（内耳が関係している）

内耳にある前庭と三半規管が体の位置の変化、そして頭の位置を感じ取り平衡感覚に関係します。



内耳にある蝸牛（かぎゅう）で高い音、低い音、大きい音、小さい音など音の性質を読み取ります。

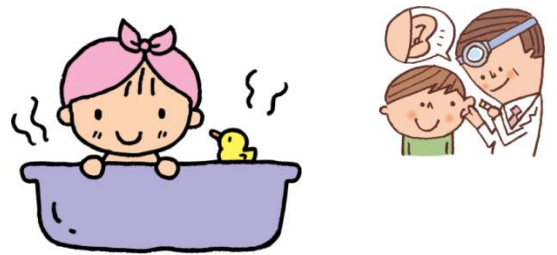
三半規管ではからだの回転運動を感知します。

前庭は水平・垂直運動、直線方向の動き、重力、遠心力を感知します。

子どもと鼻水

風邪をひくとクシャミや鼻水が出る…これはからだからバイ菌を追い出す防衛反応の一つです。しかし鼻水が長く続くと中耳炎になってしまうことがあります。理由は、大人と比べ顔の小さな子どもにとって鼻と耳の距離（耳管）が短い。そのため鼻のトラブルが耳へ移行しやすいこと、鼻水を上手にかめないことからです。1～2日間様子を見てもよくなる時は、耳鼻科受診をお勧めします。

*特にドロっとした粘性が強い鼻水が出る場合は早めの受診をお願いします



お風呂…からだをきれいにし温めることに加え、リラックスができてストレス解消になります！鼻水がでている時は、湯気が鼻の通りをよくしてくれますよ！

インフルエンザ予防接種

この時期猛威を振るうインフルエンザですが、予防接種を受けることで発症を抑え発症しても重症化を防ぐ効果があるそうです。インフルエンザの流行期は12月から3月ごろになります。接種が受けられず諦めている方は、かかりつけ医にご相談ください。

《お願い》

保育園では西多摩保健所にご助言をいただき、ご家族（特に兄弟）の方でインフルエンザに罹った方がいる場合は、感染予防の観点からお子さまの登園は控えていただきたく、おしらせしてきました。今年も引き続きご理解とご協力をお願いします。

